1 3版 令和8年(2026年)8月15日 土曜日 熊本日日新聞 (昭和17年4月1日第3種郵便物認可) 第30278号 日刊

九州道 全線通行再開

1.5キロ区間「対面」 〝大動脈〟が復活

熊本地震

2026年熊本地震で被災し、松橋インターチェンジ（IC、宇城市）―えびのIC（宮崎県えびの市）間で通行止めが続いていた九州自動車道は14日、全線で上下線とも通行が可能となった。一部区間は片側1車線の対面通行だが、お盆時期の〝大動脈〟の復活に、利用者らから歓迎の声が上がった。

当初は8月後半の通行止め解除を目指していたが、西日本高速道路が24時間体制で応急工事に当たり、安全を確認して通行可能にした。被害が大きかった宮原サービスエリア（SA）―八代IC間の川田橋付近の1・5キロは、上り線を下り線に引き込んで対面通行とし、益城熊本空港IC―坂本パーキングエリア（PA）間は時速50キロの速度規制をしている。

再開した区間には新しい舗装の跡が残り、「段差あり」と書かれた看板も目立つ。一般車両のほか、自衛隊の車両や救急車などの通行も見られた。

宮原SAでは、トイレに立ち寄ったり土産を買ったりする客の姿があった。初盆で八代市の実家に帰省するという会社員の碇山純雄さん（64）＝福岡県春日市＝は「従業員や店も被災して完全な再開とはいかないが、利用者のことを考えて完全再開への準備を進めたい」と話した。

対面通行区間があり、速度規制やお休みも重なるため、西日本高速道路は九州自動車道の上り で八代1C付近を先頭に、15日に最大15キロ、16日に最大20キロの渋滞が起きる可能性があるとしている。

九州自動車道の全線再開で、一部並走している国道3号といった幹線道路の渋滞も改善しそうだ。国道3号線沿いにある氷川町のトータルヘアサロンカマダの鎌田朗さん（61）は「地震発生後、国道や県道はいつもの2倍以上の時間がかかり、田んぼ道などを迂回しながら生活していた。九州自動車道が早く復旧したおかげで、通常の状態に戻ってきた」と安堵の表情を浮かべた。道の駅竜北の大川聡志郎館長（60）も「地震後、国道はかなり混雑していた。渋滞が緩和すればお客さんも店に来やすくなる。私自身も通勤の負担が減る」と期待した。

一方、南九州自動車道は八代ジャンクション―田浦IC間で一般車両の通行止めが続いている。（古東竜之介、伊藤英希）

全線で一般車両が走行できるようになった九州自動車道。一部区間で対面通行となっている＝14日午前10時半ごろ、八代市（後藤仁孝）

九州道の通行状況

八代市 都市ガス復旧

宇城、氷川の下水施設も

九州ガス（長崎県諫早市）は14日、2026年の熊本地震で供給を停止していた八代市の都市ガスについて、復旧率が100％になったと発表した。管内の全8892戸のうち、家屋が倒壊した65戸を除く8827戸で供給ができるようになった。各家庭の開栓作業を進めている。

国土交通省は14日、管の破損や土砂流入があった宇城市、氷川町の計8カ所の下水道施設について、13日に応急復旧が完了したと公表した。これで、熊本県内で応急復旧が必要な下水道施設はゼロになったという。

県災害対策本部の14日午後2時時点、県災害対策本部まとめ

県内自治体の断水戸数（概数）

八代市	21,860
宇城市	4,100
氷川町	1,800
合計	27,760

※13日午後2時時点、県災害対策本部まとめ

2026年熊本地震の主な被災状況（14日）

死者		39人
内訳（被災場所）	八代市	20人
	嘉島町	7人
	氷川町	5人
	宇城市	3人
	甲佐町	1人
	災害関連死の可能性あり	1人
	地震との関連調査中	2人
負傷者		354人
住家被害		29,788棟
避難者		81カ所 3,630人

※午後2時時点、県災害対策本部まとめ

後2時時点での取りまとめによると、住家被害は計2万9788棟だった。内訳は全壊1277棟、大規模半壊8棟、半壊1088棟、一部破損1万2766棟、分類未確定1万7139棟。

人的被害は死者39人、重傷26人などとなっている。開設されている避難所は八代市、宇城市といった11市町の81カ所。合わせて3630人が避難生活を続けている。（金村貴大）

きょう「終戦の日」 戦後81年

終戦から81年となる15日、政府主催の全国戦没者追悼式が東京都千代田区の日本武道館で行われる。天皇、皇后両陛下、戦没者遺族らが参列し、先の大戦の犠牲者約310万人を悼む。高市早苗首相は就任後初めて出席し式辞を述べる。厚生労働省によると、参列予定の遺族3270人のうち戦後生まれは昨年に続き半数を超え、過去最多の1840人となる【4、14、15面に関連記事】。

中東情勢の悪化など国際社会が混迷し、国内でも武器輸出解禁など戦後の安全保障政策から転換が進む中、遺族代表が追悼の辞を述べ、参列者が黙祷する。

相が「反省」の文言を民主党政権以来13年ぶりに盛り込んだ。2013年以降の安倍晋三元首相らと同様にアジア諸国への加害責任には言及していない。

式は午前11時50分ごろに始まり、首相の式辞後、天皇陛下のお言葉に続き、遺族代表が追悼の辞を述べ、参列者が黙祷する。

参列予定の遺族の年代で最も多いのは80歳以上の44％で、70代の21％、60代の14％と続く。最高齢は98歳、最年少は3歳。戦後生まれは初めて半数を超えた昨年の割合が53％で、今年は56％に増えた。15日は全国各地で関連行事が実施される。厚労省のまとめによると、計3万1千人以上が参加する見通しだ。

熊本地震ライフライン情報

2026年（令和8年）8月15日 土曜日

購読・配送のご用は ミナガムニッコリ 0120-374625

紙面のお尋ねは 096-361-3115（土・日・祝日除く9:00～17:00）

あすを読む

発行所 熊本日日新聞社 〒860-8506 熊本市中央区世安1-5-1 ☎代表（096）361-3111
© 熊本日日新聞社2026年

熊本日日新聞

支えあおう 熊本 いま心ひとつに

NEWS INDEX

2026年熊本地震
地震被害対応に31億円 熊本市 2
熊本市 訪日客が大幅減 3
村上選手がチャリティー帽子 13
断層出現 防犯カメラ捉える 14
くま川鉄道 旗振って応援 7
千葉で線状降水帯 8人死亡 13
「軍都」の健軍 見つめ続け 14
阿蘇中岳 噴火警戒レベル3に 15
社説 終戦の日 2面
読者ひろば 10面 文芸 11面 おくやみ 13面

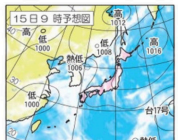
お断り

地震の影響で、朝刊が一部地区で配達されなかったり、遅れたりしています。また、新聞用紙の確保や制作工程に影響が生じ、通常よりページ数が少ない特別紙面でお届けしています。大変ご迷惑をおかけしています。地震に関する最新記事は熊日電子版に掲載しています。「熊日紙面ビューアー」も無料で利用いただけます。

熊本日日新聞社

TODAY'S WEATHER

15日は湿った空気の影響を受けて多く、夕方から所により雨。最高気温は33度前後。南の風日中西の風、波は熊本、芦北0.5メートル、天草1メートル。



	荒尾玉名	山鹿菊池	甲佐山都	阿蘇	熊本	八代	人吉	水俣	天草
	25～34℃	24～35℃	22～34℃	20～31℃	26～34℃	23～34℃	21～34℃	23～33℃	22～34℃
朝	20	20	40	20	20	10	20	10	10
昼	20	50	40	40	40	30	20	30	20
夜	40	50	30	20	30	20	30	20	30

あすから8日間（熊本地方）

	16(日)	17(月)	18(火)	19(水)	20(木)	21(金)	22(土)	23(日)
	26～34℃	26～32℃	26～34℃	25～34℃	26～34℃	25～32℃	25～32℃	25～32℃
	40	40	30	30	40	50	60	70

新生面

2026.8.15

たから箱

「じまんの じいじ」
玉東町立木藤小3年 宮本（みやもと） 優莉（ゆうり）

じいじは 木のぼり名人
にわの 高い木でも
すいすい のぼっていく
じまんの じいじ

白米思わせる紋

くまもと 花散歩 3面へ

熊本市動植物園が5月に生まれたレッサーパンダの名前を決める投票を受け付けている。その候補は「リンメイ」「ニンファー」「笑香（えみか）」「桃香（ももか）」。それぞれ熊本の県花ツツジ、ドウ、母「シンファ」と姉「杏香（きょうか）」にちなむ▼公式名が81年間も決まらないまま、国民にすっかり定着した呼び名がある。きょう「終戦の日」の全国戦没者追悼式で、天皇陛下のお言葉と首相式辞はともに「先の大戦」と語られるだろう▼広く使われる「太平洋戦争」も公式な呼称ではない。米国との戦争は沖縄戦、原爆や空襲で多くの民間人を巻き込み、つらい記憶が残っている。ただ日本の戦場は太平洋だけではなかった。中国や東南アジアにも広げた戦禍を省みて「先の」と表現すれば、ふさわしい感じがする▼終戦までは「大東亜戦争」だった。1941年12月12日、対米開戦4日後の閣議で戦争名に定め、アジアの植民地解放を大義に掲げた。その実態は武力を使った権益確保であり、軍国主義の結末は歴史が示す通り▼当時の首相東条英機が戦後、東京裁判の法廷で記したメモなど約300点が公開された。敗戦を「国の運命が」とつづるも、自省の言葉はないという。300万人を超す戦没者の名を墓碑に刻ませ、開戦を悔やまぬはずはなかろうに▼終戦間際、旧熊本動物園のゾウ「エリー」が軍の命令で殺された。現在の園には似た名前の「エリ」「マリー」がいて、悲劇を思い起こさせる。戦禍を忘れず、繰り返すまい。いつまでも「先の大戦」にしておくために。

（株）コスモ教育出版
東京都中央区日本橋浜町2-42-9
浜町中央ビル5階 ☎0120-519-114
https://www.rinen-mg.co.jp/

中小企業を活性化し、成功を探求する経営誌
月刊「理念と経営」
●2026年8月号 2026年7月21日 発行
●定価1,200円 本体価格1,091円＋税10%（1年間11,500円 3年間31,000円）

巻頭対談 指導者の一念 「事業戦略ストーリー」を熱く語れ！ フジクラ代表取締役社長CEO 岡田直樹 早稲田大学ビジネススクール教授 淺羽茂

企業事例研究 有沢製作所（新潟県） 宗重商店（石川県）

企業の成功法則 三位一体論 全員経営のすすめ 経営評論家 大濱一朗

三位一体の組織づくりのすすめ 自社の強みを見失わないために 田舞富太郎

愛からはじまるリーダーシップ 若き日の苦い体験と一番大事なリーダーの仕事 ポーラ前社長 及川美紀

トップインタビュー 個別生産型社会は中小企業にとって大チャンス 公益財団法人和敬塾塾長 前川正雄

逆境にその時、経営者は… 世界中の誰よりも鎌倉シャツのファン メーカーズシャツ鎌倉代表取締役社長 貞末奈名子

アーツ経営回記 父の背中、祖母の香り、一％の歩み。温故の心で価値をつなぐ 松栄堂代表取締役社長 畑 元章

人との世界 味を極めていけば、自然と個性が出てくる サントリー チーフブレンダー 福與伸二

特集1 凡事徹底の営業力を磨く
ディップ営業部 菊地隆介
佐藤満国際総研・農業研究所代表取締役社長 佐藤満
追手門学院大学経営学部教授 高嶋克義

特集2 組織を支える"静かな主役"たち
山福水産 広報 奥村あきの
富士古版印刷 製造部主任 浅井直也
営業部 浅井海
村石組土建 技術開発部 製品開発担当 多胡健太朗

© Kumamotonichinichi shimbun All Rights Reserved.